

生涯スポーツを続けられるまちづくり

Q 相撲場の屋根などの再整備についての考えは。

A 来年度から、夏の全国高校相撲・全日本大学選抜相撲大会の試合を、今年度完成した十和田市屋内グラウンドで実施することとしていたが、2026年に青森県を会場として実施予定の第80回国民スポーツ大会の相撲競技の会場地に当市が内定しており、県内外から多くの選手、関係者等を迎えることから、円滑な大会運営を図るため、2017年から2026年までの10か年の公共施設個別管理計画を見直し、相撲場の屋根等の再整備について検討する。

Q 東京オリンピック正式種目となった3人制バスケットボールのゴールを市内のまちなかに設置し、若い世代を中心とした市民にとり、運動できる環境づくりに努めてほしい。

A 昨年、市で行われたイベントでも好評であり、さらに、青森県で開催する第80回国民スポーツ大会では、当市においてバスケットボール少年男子の競技が行われることもあり、大会の機運醸成を図る点からも、市民がバスケットに親しめる環境づくりが必要と考えていることから、速やかに前向きに整備を進める。

Q 昭和27年に竣工された市宮野球場が老朽化してきており、さまざまな部分で劣化が見られます。グラウンドの土の入れ替えや、スプリングクライの設置に加え、何より電光掲示のスコアボードへ更新して欲しいと強い要望がある。朝野球から小・中学校の県大会や東北大会など、幅広い年代の方々に利用され、大会は16〜20ほど、年に行われている状況の中、公共施設の更新に係る将来負担が大きくなる前に、メンテナンスを行い、長寿化を行うことも含めて、大規模な修繕を行っていただきたい。

A 野球場施設の老朽化等の把握については、得点表示板の老朽化による補修が必要であると考えていますが、多額の費用を要することから、修繕によって対応したいと考えている。体育施設全般のあり方として、教育委員会による定期的な巡回や指定管理者との意見交換及び指導を行うとともに、利用者から施設に係る管理を把握するなど、引き続き適切な管理・運営に努めたい。

Q 市民のスポーツ及び文化芸術の水準向上と共に、それらを通じ市外の地域との交流を促進するため、市外から訪れる団体へ補助する制度を

設けている自治体が増えている。市外の中学校・高校・大学等の生徒又は学生で構成するスポーツ系及び文化系の団体が市内で合宿を行う場合に、経費の一部を補助する制度を設けてはどうか。

A 当市に訪れる団体等が合宿するに至っては、飲食業界、旅館、ホテルとの連携による経済効果は大きいものと考えている。助成制度のあり方等については、今後、調査・研究し、考えていく。



十和田市の未来に向けて

十和田市の人口は、平成30年1月には62,249人でしたが、4年後の令和4年1月の時点で59,596人となり、6万人を下回っています。65歳以上の高齢化率は34.6%となり、さらに十和田市で生まれた若者が進学や就職のために首都圏等へ人口流出する現象を止めることができない状況にあり、少子高齢化は進んでいます。物価高騰、アフターコロナ対策など社会経済情勢の変化によって、地域で抱える問題は今後ますます多様化・高度化していくと見込まれる中、それらの課題に対して迅速かつ的確に対応できるよう、より広い分野において、行政と市民・民間事業者・地域活動団体などと連携をとりながら、未来に向けたまちづくりを推進する必要があります。

「みんなが笑顔になれる十和田市」のため、高齢者の介護予防事業の推進と雇用対策、子育て世代の負担軽減、農・工・商が連携した更なる経営向上、自然豊かな観光資源を有効活用した地元産業の活性化、地域医療の推進を図るため医師の確保へ向けた対策、公共交通の更なる充実、スポーツ大会誘致やスポーツ振興による関連産業経済活性化、など私なりに現状を認識し、「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」と思われるまちづくりを目指します。

今後も、皆様の意見やアイデアに耳を傾け、変化する時代の流れに沿った支援を提言いたします。

発行

〒034-0011 十和田市稲生町4番37号

桜田ゆりこ後援会事務局

TEL 0176-23-3275
FAX 0176-23-4555

<https://www.sakurada-yuriko.com>

十和田市 桜田ゆりこ 🔍 検索

桜田ゆりこ後援会では、組織を充実し、桜田ゆりこさんの政治活動を応援するため会員を募集しております。

桜田ゆりこ後援会申込書	
お名前	お名前
ご住所 〒	ご住所 〒
電話番号	電話番号

FAXまたは、メール等で返信して頂けますよう宜しくお願い申し上げます。
※ご芳名や電話番号は、個人情報保護法の求めるところに従い、政治・後援会活動以外に用いることは致しません。
ご記入ありがとうございます。